

## 第8回理事会議事録

財団法人 神奈川県スキー連盟

1. 日 時 平成12年3月1日(水) 19:00~21:00
2. 場 所 神奈川県社会福祉会館 4階 第四研修室
3. 出席理事 会長:河野 洋平、副会長:廣瀬 稔、片岡 春夫、小林 幹夫、  
専務理事:山田 隆、常務理事:片 忠夫、水島三千夫、三塚康雄、  
勝又敬夫、  
理事:越前谷芳隆、早川 博基、平沢 幸一、梶 一成、上田 英之、  
本田 衛義、渡辺 三郎、山本 英雄、菊池 勇二、小山 正治、  
工藤 政蔵、三井田俊彦、菊池富士夫 (現理事数22名)  
うち委任:河野 洋平、片岡 春夫、小山 正治(3名)  
出席監事 生駒 利一  
出席参与 なし
4. 議長選出 山田専務理事を指名
5. 議事録署名人選出 早川理事、越前谷理事を選出
6. 書記 守谷紀幸広報委員を指名
7. 議 事
  - 1) 教育本部関係
    - (1) 報告事項  
事業報告について  
三塚教育本部長から、次の事業につき報告があり了承された。
      - ア 五竜行事
      - イ 基礎スキー技術合宿
      - ウ 車山行事

エ 五竜行事

オ 指導員検定会について

(2) 審議事項

平成12年度準指導員検定会検定員の変更について

三塚教育本部長から、山内検定員から佐藤検定員への変更の件についてはかったところ承認された

J S B A 資格取得者の S A J への資格移行について

\_\_\_\_\_スキークラブ増山陽子さんについて資格移行につきはかったところ承認された。

(3) その他

指導員検定の結果について

渡辺理事から、北海道が30人中20人、網張が1人中1人、岩岳が31人中12人、第4会場(鷲ヶ岳)が15人中13人合格、第5会場は参加者なしとの報告があり了承された。

2) 競技本部関係

(1) 報告事項

会議関係について

勝又競技本部長から、本日県体協強化補助事業に関する会議が県民センターで開催されており、三井田理事が出席中で終了しだい、本理事会に出席する予定とのこと。金額的なものは今年の実績程度ではないかと予想されるとのこと。

事業報告関係について

勝又競技本部長から、次の事業報告がなされ了承された。

ア ノルディック強化合宿

イ 第55回国体スキー競技会現地強化合宿

ウ 第55回国体スキー競技会

エ 第1回クラブチーム対抗アルペン大会

オ 神奈川県ハーフパイプ選手権大会

カ 神奈川県総合体育大会冬季大会スキー競技会

キ アジアチルドレンスキー大会コーチ派遣の中止

## ( 2 ) 審議事項

### 中止事業に対する返金の件について

勝又競技本部長から、第 1 回県モーグル選手権とスノーボードクロス選手権が中止になったが、これに対する返金の件で、必要経費を控除した残金を返金すべきか全額返金すべきかをはかったところ、前者とするよう決定した。なお、この件を含めて国体の出場選手選考基準や教育本部の技術選順位決定方法等きちんとしたルール作りをし、手続要綱に記載することが必要であると山田専務理事から指摘があった。また、返金方法について、手数料が高額にならないよう考慮すべき旨の注意があった。

### 南関ブロックノルディック競技会開催費用分担の件について

工藤理事から、本件について 1 2 月 1 1 日のブロック協議会で別紙資料のとおり、分担金を廃止して開催委託料や事務経費等を 3 連盟で 3 等分して負担することで合意をみたとのことではかったところ、承認した。

### 競技本部データフロッピーの販売の件について

菊池(富)理事から、ポイントリスト、国体選考基準、各種大会開催要綱等競技本部に係るデータを乗せたフロッピーを 1 , 0 0 0 円程度で販売したい旨はかったところ、校正には十分気を配ることで承認した。

### 各種大会の役員として専門員以外の者を参加させる件について

菊池(富)理事から、各大会への理事、専門員の役員参加が厳しい状況になっているため、今年度専門員以外の者を役員として参加させたい旨はかったところ、公私のけじめをきちんとつけ、周囲からの了解を得られるような形で行うことで承認した。

## 3 ) 総務本部関係

### ( 1 ) 報告事項

#### 慶弔関係について

越前谷総務本部理事から、該当がなかったとの報告があった。

#### 資金運用状況について

##### ア．現金・預金残高及び今期の見通し

上田総務本部理事から、2 月 2 9 日現在の預金残高が 18,264,225 円あり、定預金 4 本の更新

を行った。また先般、監事より指摘のあった専務理事印を作成したので、今後通帳の書換え等はこの印で行うことになるとの報告があった。今期の見通しは、60周年事業の負担は300万円程度で、それ以外の今後の収支予定を勘案するとほぼ例年どおりと考えられるとの報告があり、了承された。

#### 次年度事業計画について

越前谷総務本部理事から、日本財団に申請した「生涯スポーツとしてのスキー普及の為の講習会と競技会」件で、2月22日に財団から不採用になった旨の電話連絡があった旨の報告があり、了承された。

次に、来年度への準備として身障者を中心にして検討を進めており、2月7日に第1回目の障害者団体等との打ち合わせを行い、3月13日に第2回目を予定しているが、これを実行委員会形式で発足させることにつき審議されたい旨はかったところ、継続的に運営される委員会に実行委員会形式はなじまないとの理由で、継続調査費を承認して、会議開催の形式は問わないこと了承した。

山田専務理事から、この件に関しては、東京、千葉の連盟も興味を示しているので、できたら南関ブロック会議で了解を取って、第1回南関東選手権等、障害者の大会にジュニアとマスターズを合わせる形で申請してはどうかとの提案があった。また、勝又競技本部長から、関係団体の行動に疑問があるようなケースもあったので、慎重な検討をされたい旨の発言があった。

#### 評議員会のスケジュールについて

平沢総務理事から、第4回定例評議員会の坦務とスケジュールについて別紙資料のとおり説明があった。各部の理事は、できるだけ速やかに各行事報告書を作成し、提出されるよう要請があり、了承した。

#### S A J 会員証が届いていない場合の処置について

証総務本部理事から、S A J の会員証がまだ届いていない会員でクラウン・テクニカル等を受験する者について、受験のために登録の写しと登録手続中の文書を10数名に交付したとの報告があり、了承した。

## (2) 審議事項

#### 移入・転出について

梶総務本部理事から、今回は該当がない旨報告があった。

### (3) その他

#### 次年度事業計画について

廣瀬副会長から、次年度事業計画を審議する理事会について質問があり、平沢総務理事から各部の事業・予算案を4月5日の常務理事会で審議し、その結果を最終的に5月24日の第9回理事会で承認する流れになる旨の回答があった。

同副会長から、競技本部の事業について、重要な大会は除いて、委託方式にできないかとの指摘があり、山田専務理事及び勝又競技本部長から現行でも既に半分程度は依託化されており、これ以上のものを望めば、開催場所のスキー場に辞退されてしまうくらいの状況にあるとの回答があった。

また、同副会長から大会もオープン化できるものは、オープン化して現地で人数を集めて大会を大きくし、余った金を地元と分配するような形にできないかとの質問があったが、山田専務理事から、今やっている大会は、岩岳を除き予選会か別大会を考慮しなければならないほどの状況であり、オープン化を検討して人を増やすことを検討する状況にない旨の回答があり、勝又競技本部長から今年の中止になったモーグルの大会も当初参加が220名を超えていたが、SAJの大会では120名がマックスで、常識的に無理な数字であり、来年は別大会等も検討しなければと考えているとの回答があった。また、菊池(富)理事から、オープン化の話はないことはないが、できるものとできないものがあり、今後検討していきたいとのことであった。

山田専務理事から、来期の事業計画を立てるにあたり、スクラップアンドビルドを徹底させた形で、各部で検討されたい旨の依頼があった。

### 4) 新役員選出について

#### (1) 報告事項

役員候補選出委員を2月末に各ブロックあて選出依頼していたものが、次のとおり26名選出されてきた。

#### 横浜ブロック

・須藤照彦    ・鈴木克美    ・相澤重明    ・佐伯英雄    ・鳥羽洋一郎  
・田中義孝    ・佐藤茂之    ・小川浩史    ・神谷明宏    ・内藤 晋

#### 川崎ブロック

・鈴木正儀    ・土屋広夫    ・八尾 勉    ・藤田まゆみ

#### 湘南ブロック

・大鷹丸正人    ・佐藤嘉彦    ・加藤国夫    ・勝島忠秋

#### 県央ブロック

・山崎七郎    ・徳田盾夫    ・中森博文    ・井上敏郎

#### 県西ブロック

・小室静雄    ・松浦哲也    ・有我幸雄    ・窪田 篤

第1回目の役員選出委員会は3月23日県社協にて開催予定。当日出席の片常務理事、水島総務本部長及び越前谷理事は理事の立場で委員会に同席できないので、県連としての考え方を説明、資料提出後退席する。それ以後は、正副委員長互選、日程等を含めた審議に入っていく。

この役員選出委員長名で、各ブロックの加盟団体に役員の推薦依頼を行い、そこで固有名詞が上がってくることになる。

第2回の委員会が4月上旬に開催され、ブロック分けを今回から行ったが、これが機能して、この時点で定数にうまく収まっていれば、これで終了となり、収まっていなければ、そこで審議ということになる。

県連のホームページに、前回の理事会の役員選出に関する資料を掲載している。また、各ブロックの質問用に、現在問答集を作成中なので、これもホームページに掲載するので、これで理解を深めてもらいたいと考えている。

質問等で主なものは、ブロック制を敷いたことの説明が不足しているという点と、費用をどうするのかという点である。

小林副会長から、県央ブロックで理事を5名から3名に減らすことは、なかなか難しいとの意見があったが、片常務理事から、財団法人になった関係から、加盟団体に平等に権利義務が発生するが、活動実態から考慮して考え出したのがブロック制であり、この中では平等に3名の理事を選出してもらおう形になり、専務・常務理事の候補も含めると、もっと多くの人数を推薦できるし、他のブロックで人数に満たないところがあれば、調整は役員選出委員会の中で検討することになるとの説明があった。

5) その他(山田専務理事から)

(1) 報告事項

県連ホームページについて

先日の指導員検定会会場で、本県連のホームページに対して、群馬、埼玉、千葉の各県連役員から「驚き」を含めた、全国各連盟のホームページの中でも群を抜いているとの評価を受けたとの報告があり、了承した。

(2) 審議事項

神奈川県体育協会評議員及び同理事の候補者の推薦について

標記について、3月15日までに推薦されたい旨の依頼が神奈川県体育協会から来ているが、これまでは正副理事長が就任していたが、今回諸般の事情を考慮して、続投の可能性の強い副会長2名を推薦することとしたい旨をはかり、承認された。

(3) その他(三井田理事から)

県体協強化補助費について

本日の県体協強化補助事業に関する会議で、次年度補助金配当の内示があり、通常強化費600,000円、ジュニア強化費240,000円とのことで、他に2次配当も可能性があるとのことだが、県の財政状況から期待はできないだろうとの報告があり、了承された。

以上、この議事録が正確であることを証明するため、議事録署名人、下記に署名する。

平成11年 4月 3日

議 長 印

議事録署名人 印

議事録署名人 印